

資料編

第1節 21'いいだ環境プラン策定以降の統計指標の推移

第2節 飯田市内の重要な自然、景観

第3節 21'いいだ環境プラン策定と改訂の経過

第1節 21'いいだ環境プラン策定以降の統計指標の推移

1 飯田市の概要

(1) 位置・地勢

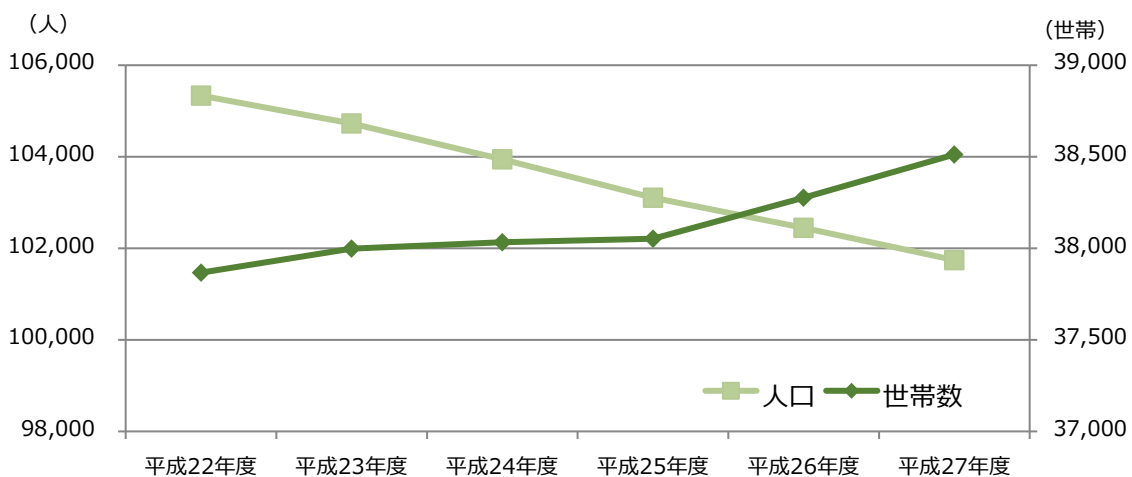
飯田市は、南アルプスと中央アルプスに挟まれ、その中央を天竜川が北から南へ流れており、本市域中、天竜川最下流部（標高約300m）から南アルプスの聖岳（標高3,013m）まで、標高差2,700mを超える我が国最大級の谷地形の中に、何段にも形成された段丘や、日本で一番長い断層である中央構造線が刻んだ遠山谷などがあり、我が国でも有数の美しさに変化に富んだ地形をしています。

天竜川沿いの氾濫原には水田が多く、段丘上やそれに続く扇状地には果樹園が多くなっています。段丘崖には樹木が繁茂し、景観の中に緑の帯を形づくっています。周辺部の多くは山林ですが、山あいには谷地田が、日当たりの良い傾斜地には段々畑が点在し、美しい農村風景をつくっています。

(各データは最新年度で入手できるものから引用しています。)

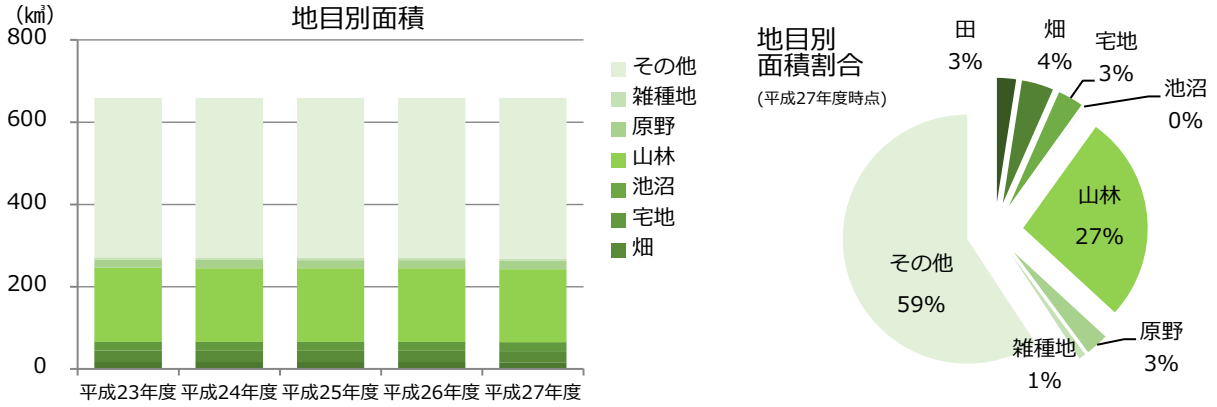
(2) 人口と世帯数（平成19(2007)年度以降）

飯田市の人口は減少傾向にあります。世帯数は増加傾向にあります。このことは単身世帯が増加していることを示しています。平成19(2007)年度時点の1世帯あたりの人数が2.85人だったのに対して、平成27(2015)年度時点では2.64人になっています。



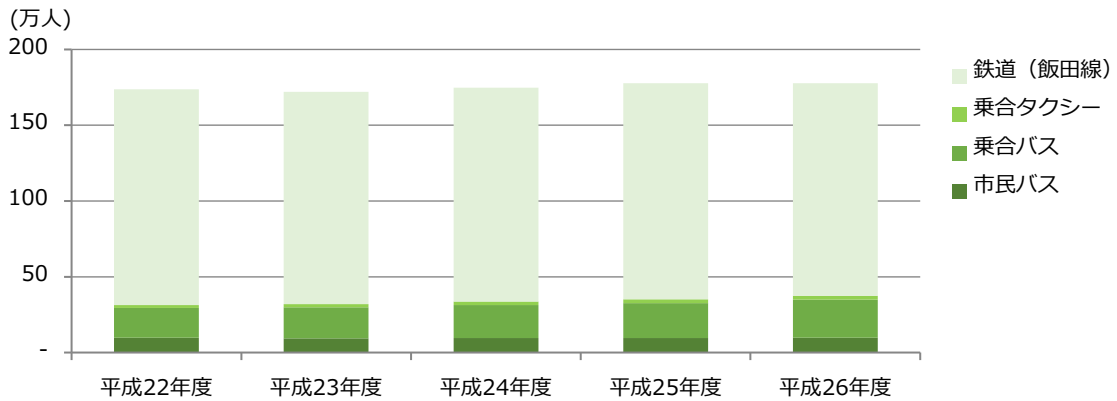
※「市政の概要」より抜粋、編集

(3) 土地利用（平成27(2015)年度時点の値）

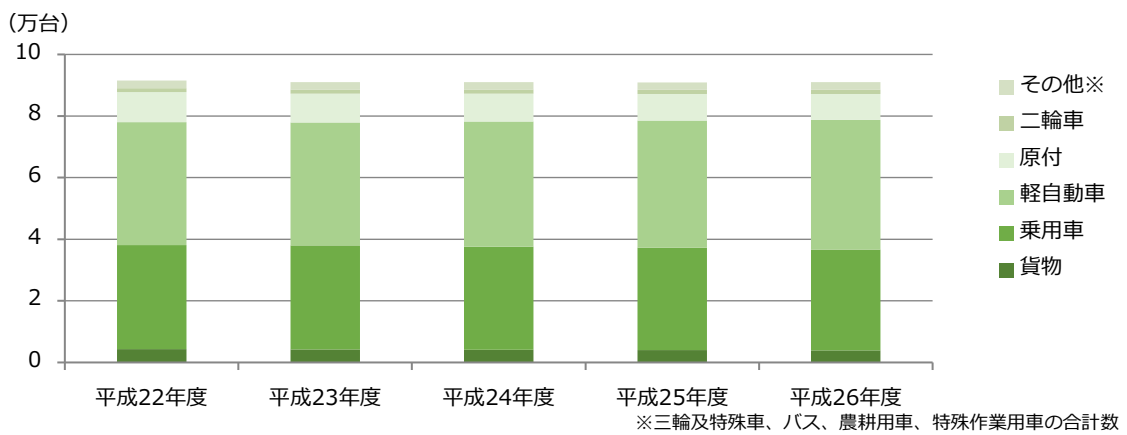


(4) 交通

ア 公共交通利用者数



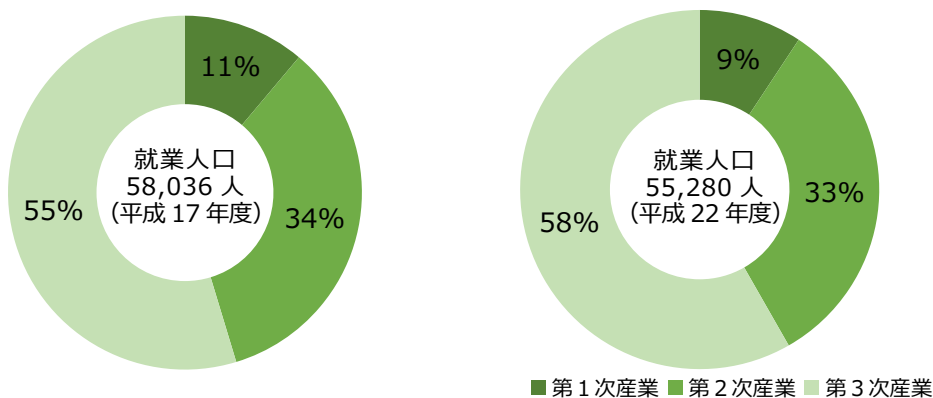
イ 自動車等保有台数



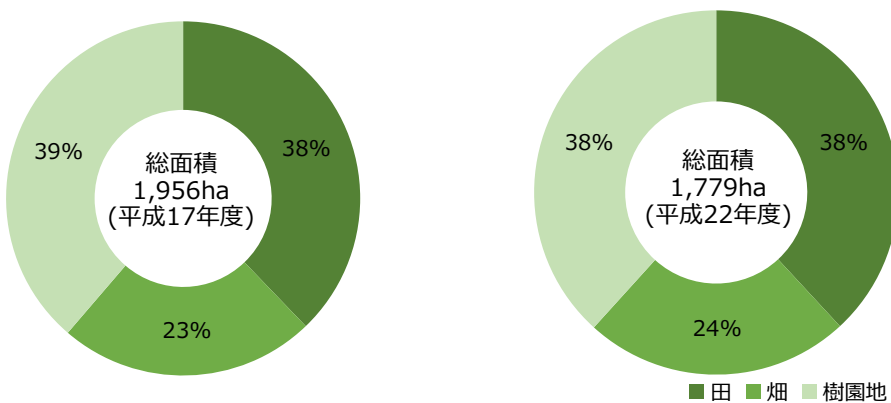
※「市政の概要」より抜粋、編集

(5) 産業

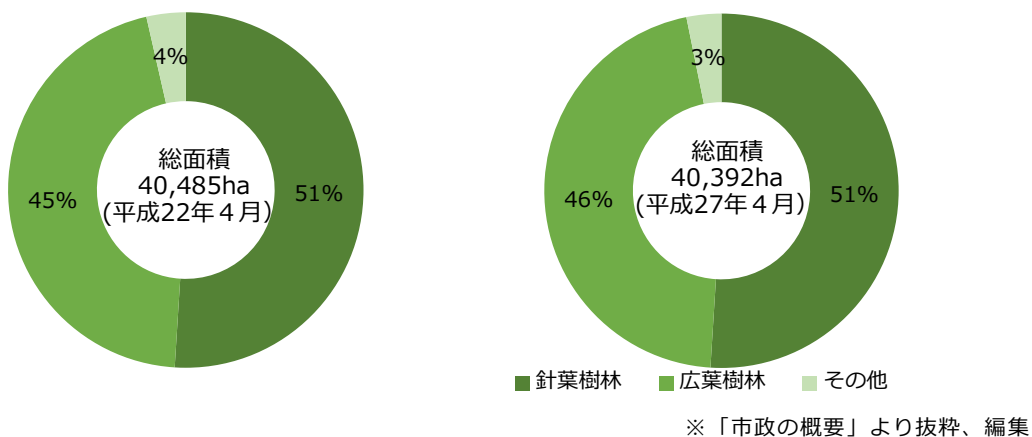
ア 産業別人口



イ 農業 経営耕作面積の割合の推移



ウ 林業 林野面積（私有林）の割合



工 商工業

事業所数・従業者数の推移（民間）

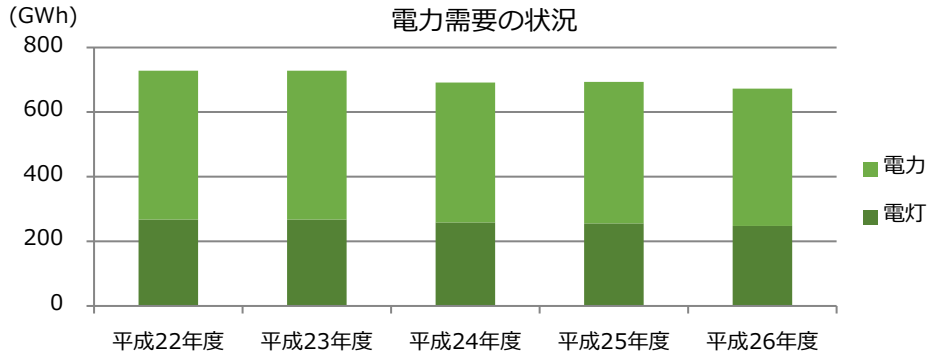
産 業	平成 24 年度		平成 26 年度	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総数	6,287	50,841	6,252	49,925
A 農業,林業	48	455	48	444
B 漁業	2	46	2	36
C 鉱業,採石業,砂利採取業	4	21	3	12
D 建設業	675	4,945	653	4,624
E 製造業	681	11,675	658	10,033
F 電気・ガス・熱供給・水道業	7	261	12	307
G 情報通信業	46	269	47	258
H 運輸業,郵便業	106	2,043	96	2,257
I 卸売業,小売業	1,476	9,838	1,443	10,007
J 金融業,保険業	111	1,229	105	1,170
K 不動産業,物品賃貸業	490	1,128	502	1,227
L 学術研究,専門・技術サービス業	264	1,282	270	1,744
M 宿泊業,飲食サービス業	848	4,656	848	4,645
N 生活関連サービス業,娯楽業	542	2,163	557	2,187
O 教育,学習支援業	152	863	147	876
P 医療,福祉	384	6,265	427	6,907
Q 複合サービス事業	46	453	43	414
R サービス業(他に分類されないもの)	405	3,249	391	2,777

資料：経済センサス—基礎調査・経済センサス-活動調査

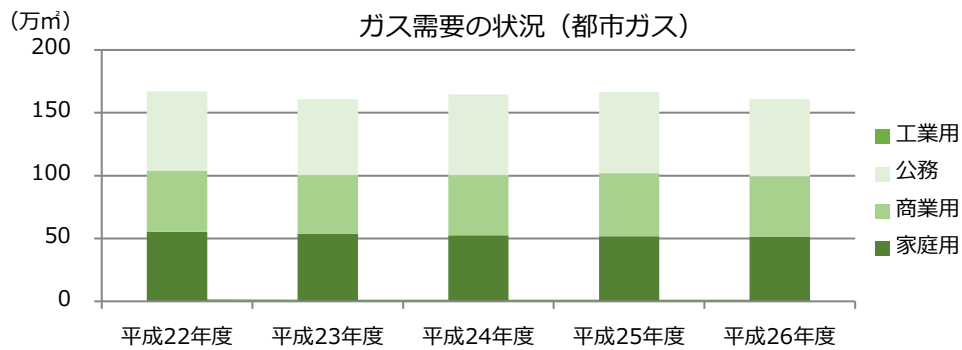
※「市政の概要」より抜粋、編集

(6) エネルギー使用量

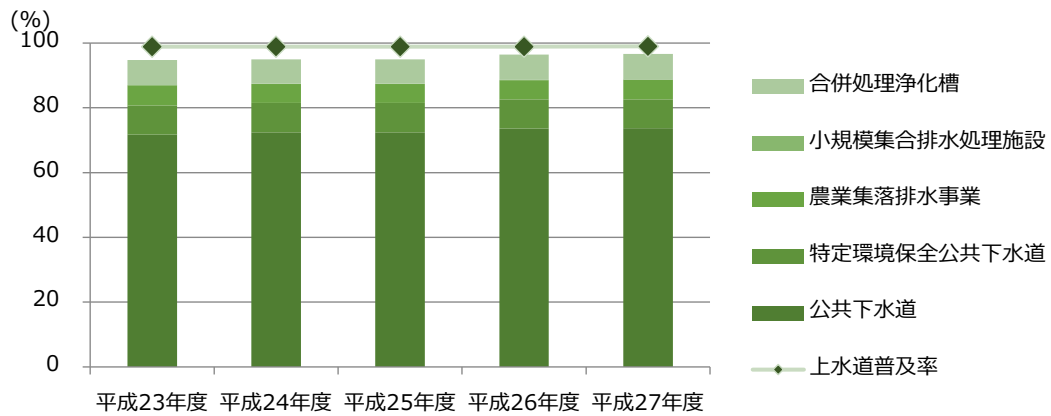
ア 電力



イ ガス (都市ガス)



ウ 上下水道の普及率

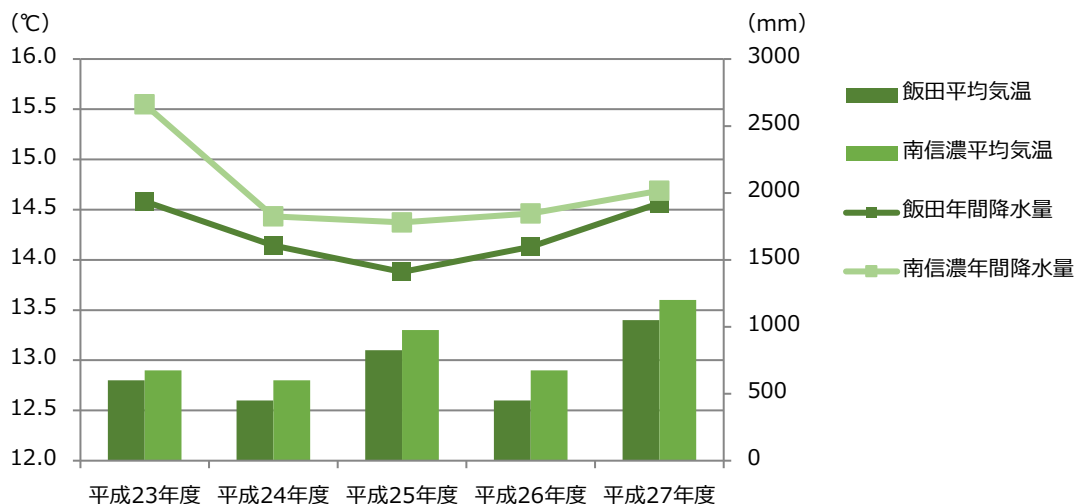


※「市政の概要」より抜粋、編集

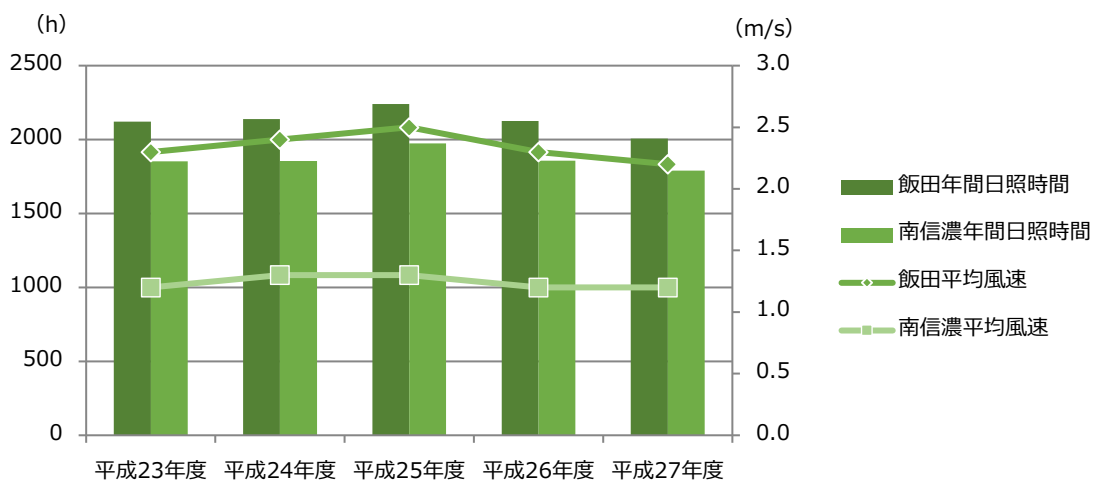
2 飯田市の自然環境

(1) 気象

ア 平均気温と年間降水量



イ 日照時間と平均風速



※「市政の概要」より抜粋、編集

(2) 地質

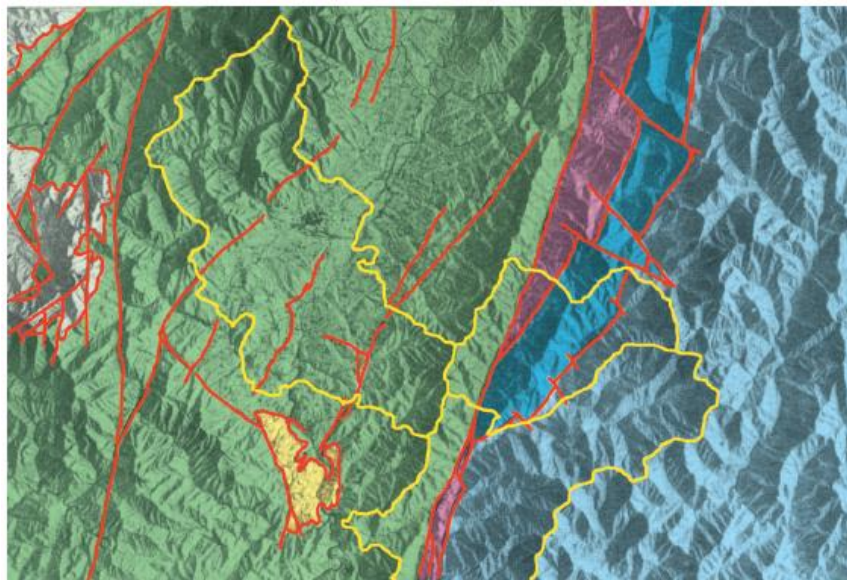
飯田市の地質は市内を走る中央構造線の東西で大きく異なっているという特徴を持っています。中央構造線は、日本列島が大陸の一部だった頃から離れる前、中生代白亜紀に、東アジアの東端にできた大規模な断層です。

中央構造線の西側は領家帯と呼ばれ、花崗岩と変成岩からできています。領家帯の変成岩は、中生代ジュラ紀に海洋プレートが大陸プレートの下に潜り込む時に、海洋プレートの上部が削り取られながら大陸プレートの下部に付着した部分（付加体）が、白亜紀に高温低圧の変性作用を受けて変化した岩石です。飯田市に主に分布している花崗岩は、中世白亜紀頃にできた古期花崗岩です。また、これら

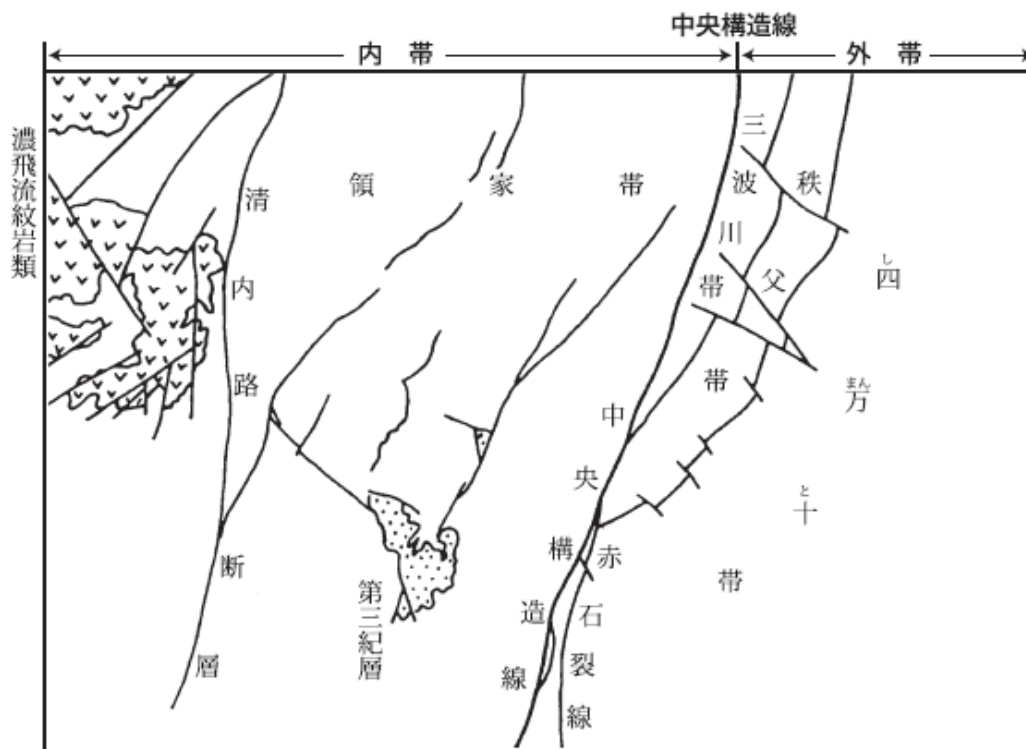
の岩石の上に新生代第三紀の海底堆積物や第四紀の天竜川やその支流による河川堆積物が積み重なって現在の地形が出来ています。

中央構造線の東側には、西から順に三波川帯、秩父帯、四万十帯が見られます。三波川帯は、領家帯と同じ中生代ジュラ紀の付加体が中世白亜紀に低温高圧の変性作用を受けてできた変成岩を中心としています。秩父帯は、領家帯や三波川帯の起源となるジュラ紀の付加体が露出した部分です。四万十帯は、他の地域とは異なる中生代白亜紀～新生代第三紀の深田が、広域の変性作用を受けずそのまま露出しています。

※飯田市教育委員会、「私たちの飯田市」より抜粋、編集



上図は下伊那の地質解説1976（下伊那地質誌編集委員会編）p24の写真に着色。飯田市の区域は黄色線で示した。赤線は断層または地質帯の境界。下図は同文献p25の図を引用。



※飯田市教育委員会、「私たちの飯田市」より抜粋、編集

(3) 植生

天竜川沿いの標高 400m から、標高 3,013m の南アルプス聖岳にまで及び飯田市の植物の垂直分布は、変化にとんだものになっています。

南信濃南部や天竜峡から座光寺付近までの天竜川沿いの段丘崖や神社の森の中には、アラカシ、シラカシ、アオキ、ヤブツバキなどの常緑の広葉樹が生育しているのがみられます。これは、天竜川下流域の温暖な地方から続いている常緑広葉樹林の北限に当たるところで、標高 500m くらいまで続きます。

標高 500m から 1,000m の間は人々の主な生活域になっている部分ですが、ここは低山帯下部になります。この標高を代表する植物はモミ、ツガ、クリ、コナラなどです。

その上部の標高 1,000m から 1,700m の間が低山帯上部となり、代表する植物はブナ、ミズナラ、ウラジロモミなどです。風越山の山頂付近や上村下栗地区などがこのゾーンにあたります。

更に、その上部の標高 1,700m から 2,700m までの間が亜高山帯となり、下

部と上部に分けられます。播古木山山頂付近はその下部にあたり、シラビソ、コメツガ、トウヒなどが代表する植物となっています。南アルプス茶臼岳のような標高2,600m付近になると亜高山帯上部となり、ダケカンバが代表的な植物になります。標高2,700m以上は高山帯となりハイマツと背の低い高山植物だけとなります。

この植物の垂直分布の様子も、開発の進んだ平坦部やカラマツ、ヒノキ、スギなどの人工林の多い市内の森林では、はっきりしません。

このように、飯田市は温暖帯から寒帯までの植物が分布し、それが河川によっ

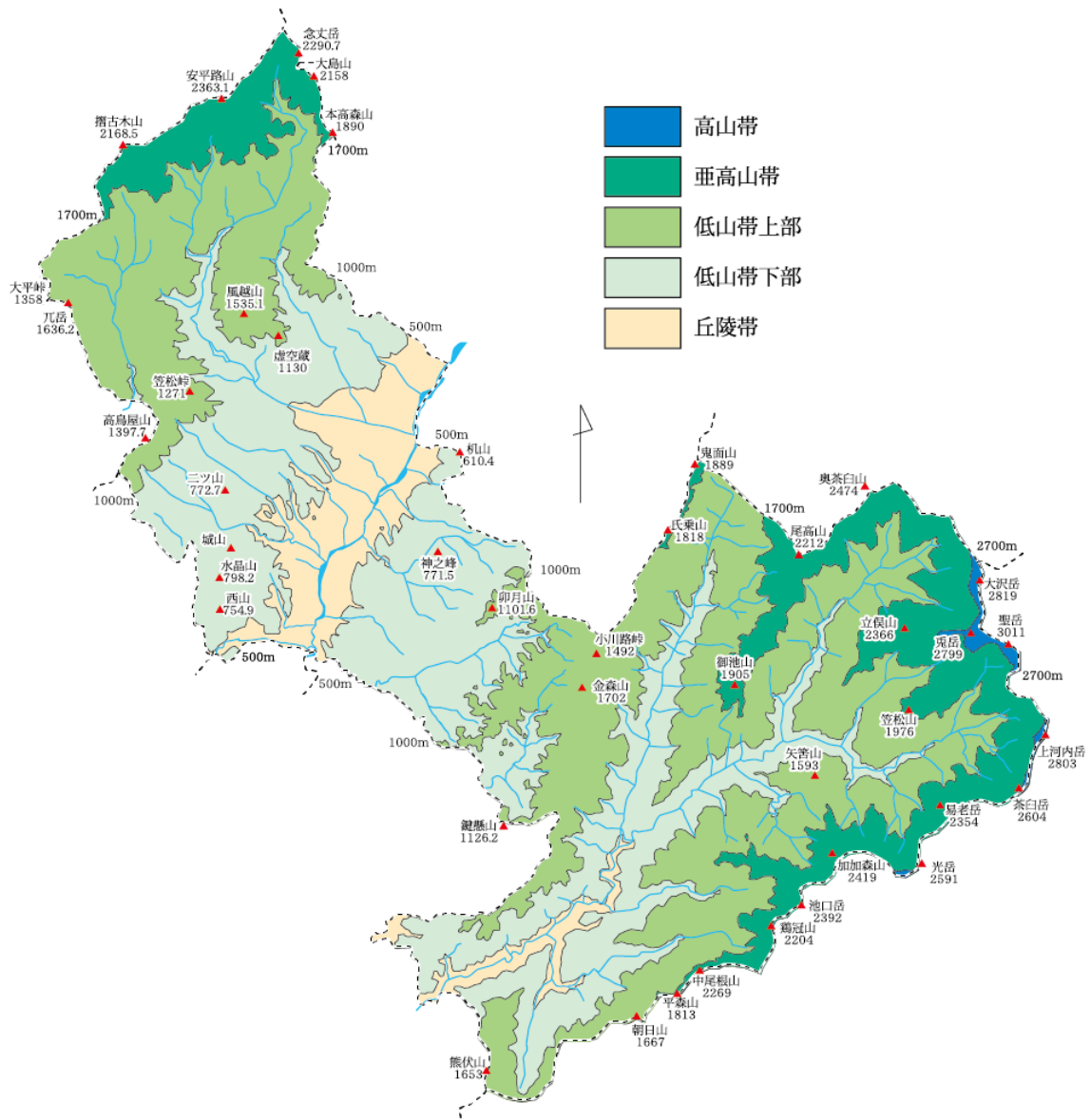
て削り込まれた変化の多い地形の中に、複雑に入り組んでいます。さらに気象的には多雨地帯であり、また、地形においても特殊な発達過程をもつところであるので、飯田市は、変化にとんだ植物社会を構成しています。

「下伊那の植物」(下伊那教育委員会編)には、約2,300種の植物が記載されていますが、そのほとんどが飯田市に産するとされています。これだけ豊富な植物が一つの地域に生育する場所は、日本でもきわめて珍しいと言えます。

温度による帯別		高度による帯別		植生帯と極相林	主な樹種	地域(例)
寒帯	高山帯	上部		草原・荒原	ガンコウラン・ミネズオウ・コメバツガザクラ	赤石岳山頂 3,120m
		下部		常緑針葉樹林帯(ハイマツ)	ハイマツ・コケモモ キバナシャクナゲ	大沢岳山頂 2,819m
亜寒帯	亜高山帯	上部	2,700m	落葉広葉樹林帯(ダケカンバ)	ダケカンバ・ミヤマハンノキ・キバナシャクナゲ	三伏峠 2,607m
		下部		常緑針葉樹林帯(オオシラビソ)	シラビソ・オオシラビソ・トオヒ・コメツガ・クロベ	安平路山頂 2,363m 摺古木山頂 2,169m
温帯	冷温帯	上部	1,700m	落葉広葉樹林帯(ブナ)	ブナ・イヌブナ・シオジ・ミズナラ・ウラジロモミ・ツガ	風越山頂 1,535m 卯月山頂 1,101m
		下部	1,000m	常緑針葉・落葉広葉樹林	ツガ・モミ・アカマツ・コナラ・クリ・イヌシデ	水晶山頂 798m
帯	中間温帯	上部	500m	常緑広葉樹林(カシ)	アラカシ・ウラジロガシ・ケヤキ・アカマツ・モミ	天竜峡 400m 平岡 360m
		下部		常緑広葉樹林(シイ)	スダジイ・コジイ・タブ・イスノキ	当地方には存在しない
	暖温帯	丘陵帯				

※上表は、下伊那地方の植物の垂直分布帯をまとめたもの(堤久の調べによる)

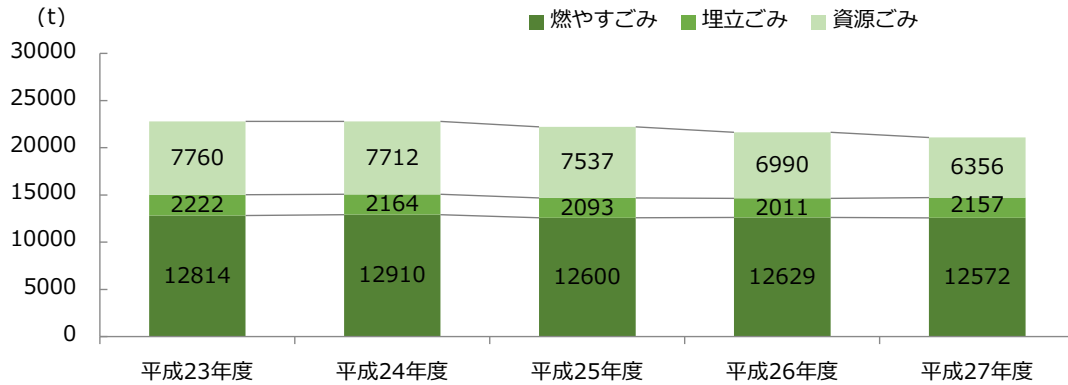
※飯田市教育委員会「私たちの飯田市」より抜粋、編集



図：標高から推定する飯田市の植物分布
 ※飯田市教育委員会「私たちの飯田市」より抜粋、編集

3 飯田市の生活環境

(1) ごみの排出状況

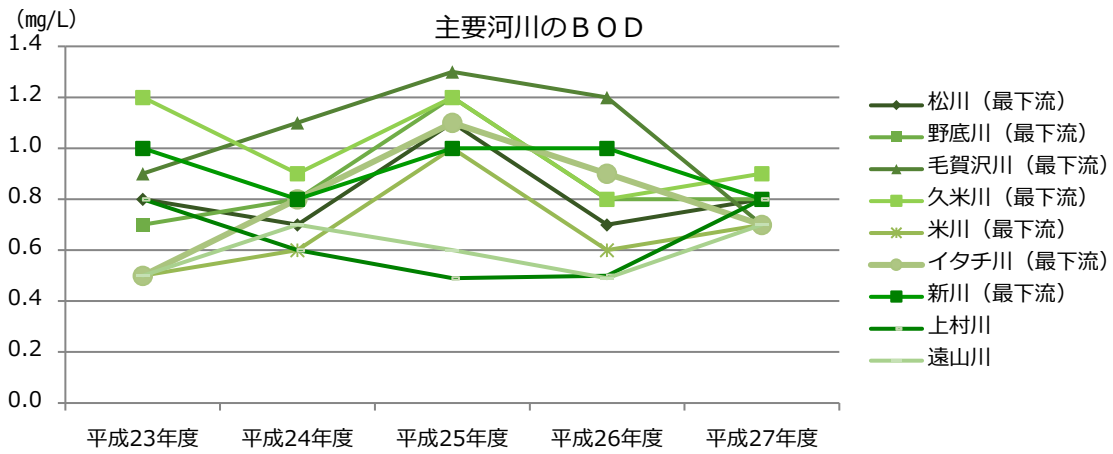


項目	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	対前年度 比率 %	
人口(9月末時点住民基本台帳人口+外国人登録人口)*	人	107,223	106,453	105,611	104,950	104,246	-	
ごみの収集量(家庭系一般廃棄物)(C)	計画値	t/年	25,200	21,950	21,529	21,190	20,896	-
(市が所管するごみ収集量+直接搬入量)	実績値	t/年	22,796	22,786	22,230	21,630	21,085	97.5
処分ごみ(A)	実績値	t/年	15,036	15,074	14,693	14,640	14,729	100.6
燃やすごみ	計画値	t/年	12,700	12,135	11,910	11,723	11,538	-
	実績値	t/年	12,814	12,910	12,600	12,629	12,572	99.5
埋立ごみ	計画値	t/年	3,380	2,203	2,106	2,049	2,030	-
	実績値	t/年	2,222	2,164	2,093	2,011	2,157	107.3
うち火災ごみ	実績値	t/年	3	18	8	0	120	-
	実績値	t/年	3	18	8	0	120	-
資源ごみ(B)	計画値	t/年	8,880	7,612	7,513	7,418	7,328	-
	実績値	t/年	7,760	7,712	7,537	6,990	6,356	90.9
紙資源	実績値	t/年	4,908	4,804	4,686	4,179	3,599	86.1
金属資源	実績値	t/年	587	571	551	511	478	93.5
ガラスびん	実績値	t/年	425	415	401	416	404	97.1
ペットボトル	実績値	t/年	80	78	74	65	53	81.5
プラ資源	実績値	t/年	1,578	1,639	1,631	1,618	1,648	101.9
特定ごみ	実績値	t/年	13	26	22	28	26	92.9
生ごみ	実績値	t/年	169	179	172	173	148	85.5
再資源化率(B/C)	計画値	%	35.2	34.7	34.9	35	35.1	-
	実績値	%	34	33.8	33.9	32.3	30.1	-
一人あたりごみの収集量(家庭系一般廃棄物)	実績値	kg/人・年	212.6	214	210.5	206.1	202.3	-
処分ごみ	実績値	kg/人・年	140.2	141.6	139.1	139.5	141.3	101.3
燃やすごみ	実績値	kg/人・年	119.5	121.3	119.3	120.3	120.6	100.2
埋立ごみ	実績値	kg/人・年	20.7	20.3	19.8	19.2	20.7	107.8
資源ごみ	実績値	kg/人・年	72.4	72.4	71.4	66.6	61.0	91.6

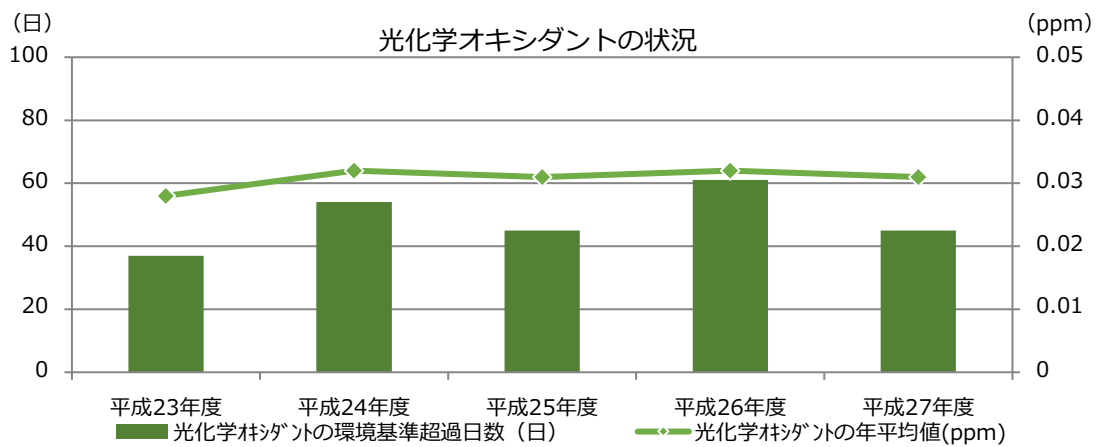
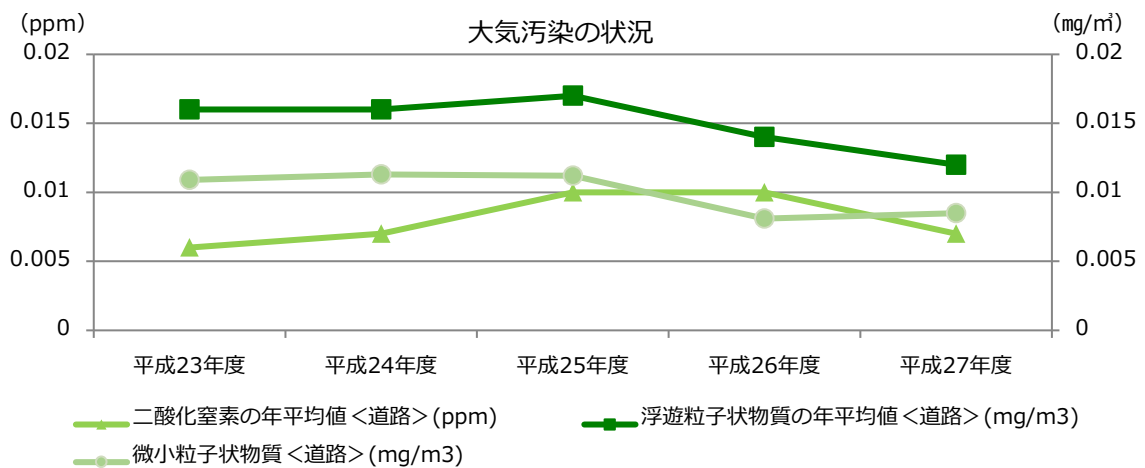
*平成24年度からは住民基本台帳人口に外国人含む

計画値は飯田市一般廃棄物(ごみ)処理計画(平成19年度～23年度)及び同(平成24年度～28年度)による

(2) 主要河川の状況



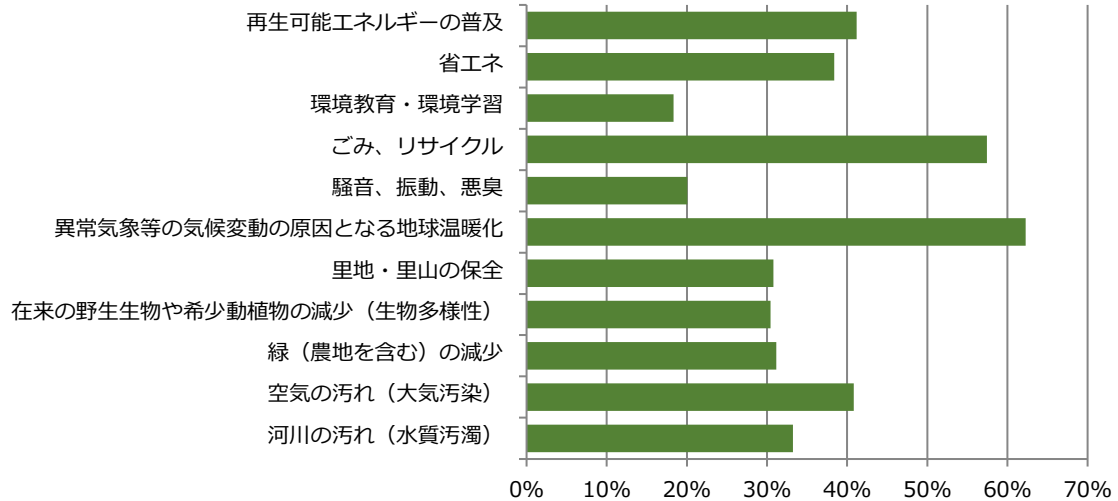
(3) 大気汚染測定結果



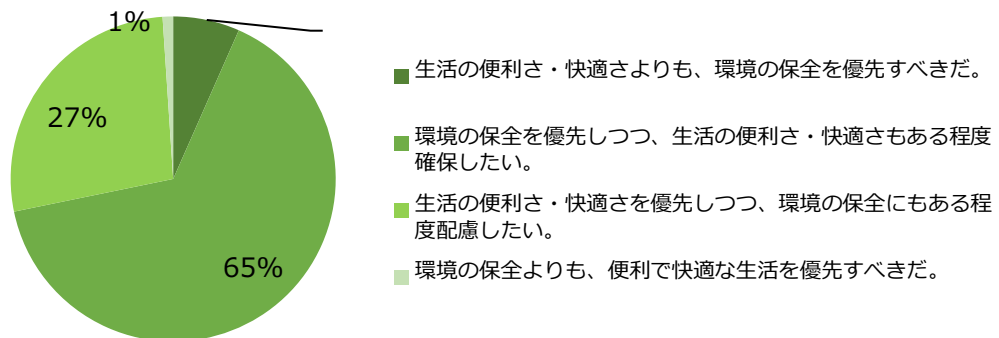
※各測定結果より

4 環境に対する飯田市民の意識 (H27 アンケート調査結果 有効回答数 289 人)

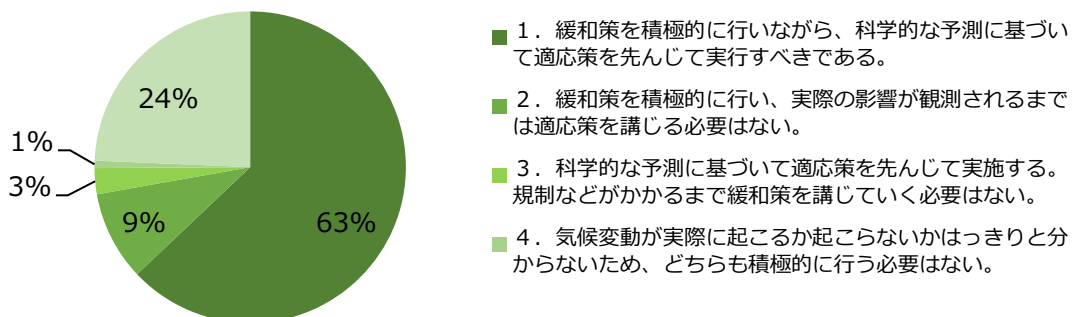
(1) 市民の関心が向けられている環境問題や環境活動



(2) 環境の保全と生活の便利さとのバランスについて

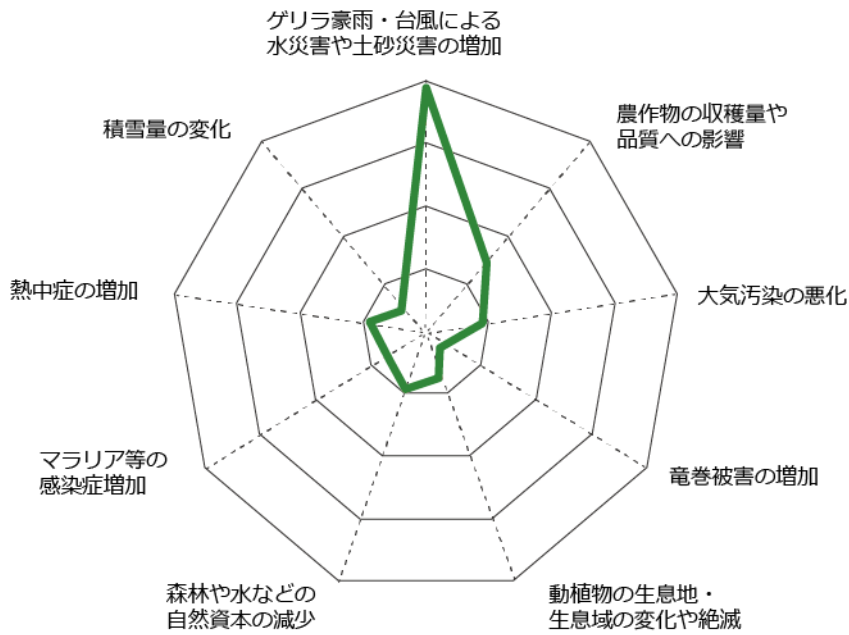


(3) 温暖化に対する緩和策と適応策について (緩和策及び適応策について説明後の問い)

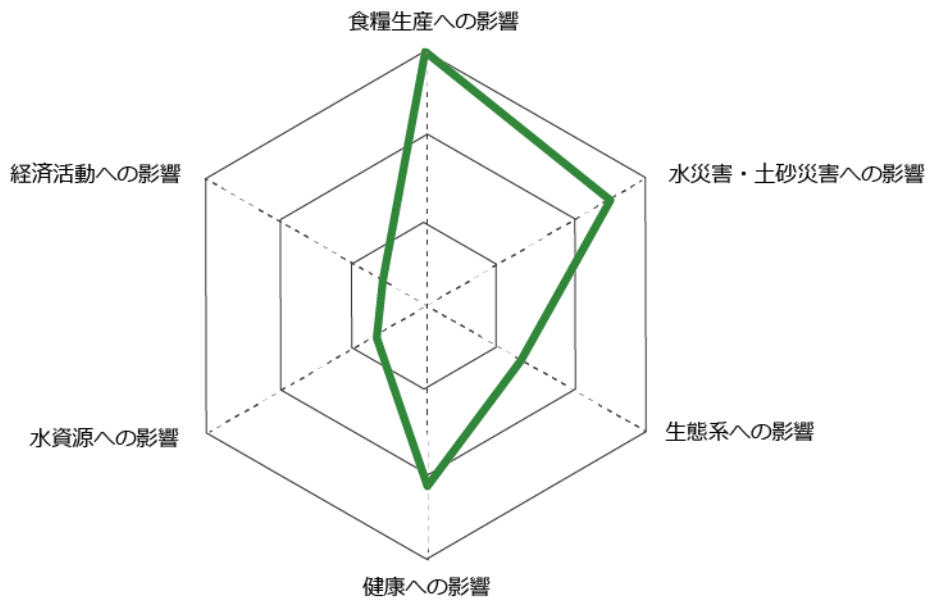


※平成 27 年度に実施した市民アンケート調査結果より

(4) 気候変動の影響で、不安に感じている事柄



(5) 予測される気温上昇による自分の生活への影響について



※平成 27 年度に実施した市民アンケート調査結果より

第2節 飯田市内の重要な自然、景観

1 自然環境保全に係る地域指定

(1) 自然環境保全地域（飯田市自然環境保全条例）

地区	指定年月日	面積（ha）
竜東	S48.7.1	2,075
竜西	S48.7.1	2,645
大平	S59.4.20	74

(2) 自然公園法（自然公園法）

公園別	名称	指定年月日	総面積（ha）	飯田市に係る地域
国立公園	南アルプス	S39.6.1	35,742	大沢岳から兎岳、聖岳、上河内岳、茶臼岳、仁多岳、易老岳、光岳に至る地域
国定公園	天竜奥三河	S44.1.10	25,756	万古川、上流域一帯、天竜川、天竜峡以南
県立自然公園	中央アルプス	S26.11.22	35,427	大平から松川上流域一帯
	天竜小渋水系	S45.12.21	2,561	天竜川・天竜峡以北、神之峰一帯

(3) 郷土環境保全地域（長野県自然環境保全条例）

指定地名	所在地	指定年月日	面積（ha）	指定理由
開善寺	飯田市上川路	S58.3.22	2.01	郷土的、歴史的地域
大平宿	飯田市上飯田	S62.4.13	290.06	郷土的、歴史的地域
野底山	飯田市黒田	H9.12.8	133.71	郷土的、歴史的な地域、市街地周辺の良好な自然環境形成地域

(4) 信濃路自然歩道（長野県信濃路自然歩道設置要綱）

ルート名	計画延長	整備済（km）	整備済割合	整備済みの主な経過地
伊那谷	76	76	100	園原—富士見台—上清内路—下清内路—梨子野峠—鳩打峠—沢城湖—妙琴公園—八王子公園—瑠璃寺—熾政寺—松川高原

(5) 自然園（県指定）

名称	所在地	設置年度	面積（ha）
摺古木山	飯田市	S48~S50	210.2

(6) その他

ア ふるさといきものの里（環境省認定）

名称	所在地	設置年度	面積（ha）
ふるさといきものの里	飯田市桐林	平成元年	250

イ 名水百選（環境省認定）

名称	所在地	選定年度
猿庫の泉	飯田市大休	S60
観音霊水	飯田市南信濃	H20

ウ モニタリングサイト 1000 (環境省設定)

名称	所在地	選定年度	サイトの種類	調査項目
たねほさんの ハナノキ湿地	飯田市 竹佐・箱川	H19	コアサイト	植物・鳥類・哺乳類・蝶

2 天然記念物等の指定状況

(1) 飯田市内の名木・巨木(天然記念物及び環境省登録の巨木)

名称	指定年月日	指定	備考
山本のハナノキ	S40.4.30	県の天然記念物	山本 6771 樹高 30m 余、胸高周囲 4.8m、推定樹齢 300 年
長姫のエドヒガン	S42.5.22	県の天然記念物 環境省登録の巨木	追手町 2 丁目 655 美術博物館 樹高 20m、胸高周囲 5.4m、飯田城主の家老 安富家にちなんで、地元では別名「安富の桜」 の愛称で親しまれている。
川路のネズミサシ	S43.3.21	県の天然記念物	川路 4693 樹高 18m、胸高周囲 3.5m、樹 齢約 1000 年と言われている。
風越山の ベニマンサクの自生地	S43.5.16	県の天然記念物	上飯田 6998、6999 群生地、分布の東限、海 抜が高い (600m~1400m)。
立石の雌スギ雄スギ	S43.5.16	県の天然記念物	立石 502.659 雄スギの胸高周囲 9.2m、雌 スギ 8.3m、雄スギ樹高 45m、雌スギ 60m、 樹齢約 1000 年といわれる。
羽場の大栴	S43.11.19	県の天然記念物 環境省登録の巨木	羽場町 3 丁目 726 胸高周囲 3.4m、推定樹 齢 400 年、S45.4.10 移植
桜丸の蚊母樹 (イスノキ)	S46.3.15	県の天然記念物	追手町 2 丁目 678 県飯田合同庁舎裏 旧飯田城桜丸に残された珍樹
龍江大屋敷の イワテヤマナシ	S46.3.15	県の天然記念物	龍江 9637-1 胸高周囲 5.8m、樹高約 10m、紅 彼岸桜、樹齢約 750 年
正永寺原の公孫樹 (イチョウ)	S47.5.11	県の天然記念物 環境省登録の巨木	正永町 2 丁目 1499-3 胸高周囲 6m、樹高 40m、樹齢約 450 年
愛宕神社の清秀桜	S48.12.15	県の天然記念物 環境省登録の巨木	愛宕町 2781 愛宕神社 中世清秀法印が仁 治年間手植、太さ根回り 7m、胸高周囲 4.0m、 樹高 20m、推定樹齢 300 年以上。
烏屋同志の カヤの木	S60.6.20	県の天然記念物 環境省登録の巨木	大瀬木 3530 旭ヶ丘中学校内 胸高周囲 4.0m、樹高 20m、推定樹齢 300 年以上。
鼎一色の大杉	S60.6.20	県の天然記念物 環境省登録の巨木	鼎一色 15 一色神社内 胸高周囲約 4.9m、樹高 40m、推定樹齢 360 年
阿弥陀寺の シダレザクラ	H2.1.7	市の天然記念物	丸山町 2 丁目 6728 胸高周囲約 4.2m、樹高 15m。樹勢・樹形とも良好な古木である。
千代のアベマキ	H3.3.15	市の天然記念物	千代 1252-2 胸高周囲約 3.9m、樹高約 16m、推定樹齢 200 年以上。
万古の栃の木	H8.10.29	市の天然記念物	千代法全寺万古 樹高 25m、胸高幹囲 8.7m、 樹齢推計 700 年。トチノキとしては当地方屈 指の巨木。樹高、幹回り等は市内最大。

(2) その他天然記念物の指定状況

名称	指定年月日	指定	備考
ライチョウ	S30.2.15	国特別天然記念物	南アルプス一帯 標高 2,400メートル以上のハイマツ帯に生息。冬は少し標高の低い森林帯、雪洞に住む。氷河期からの生き残り。キジ目/ライチョウ科 絶滅危惧 2 類 (VU) 絶滅の危険性が増大している種。
ニホンカモシカ	S30.12.15	国特別天然記念物	中央・南アルプス一帯 日本に住む唯一の野生ウシ科動物で日本特産種。
イヌワシ	S40.5.12	国の天然記念物	日本最大級の猛禽類で、近畿地方以北の山岳地帯で繁殖している。
ヤマネ	S50.6.26	国の天然記念物	標高 500～1800m の山地 げっ歯目ヤマネ科、一属一種の日本特産種で世界的にも珍しい。
モリアオガエル繁殖地	S43.5.16	県の天然記念物	上郷黒田 3481 野底山池の平 5 月から 7 月にかけて産卵。
ベニヒカゲ	S50.2.24	県の天然記念物	ジャノメチョウ科の高山蝶。
ミヤマシロチョウ	S50.2.24	県の天然記念物	亜高山帯に生息し、伊那谷では南アルプスの中腹に広く分布する。
クモツマキチョウ	S50.2.24	県の天然記念物	長野県を中心とした中部山岳地域に生息し、南アルプスでは中腹の沢沿いに分布する。
クモマベニヒカゲ	S50.2.24	県の天然記念物	ベニヒカゲと近縁であるが、分布ははるかに狭く、南・中央アルプスでは主としてダケカンバ帯の林間の草地などに生息。
オオイチモンジ	S50.2.24	県の天然記念物	本州中部と北海道に分布するが、本州では局所的で、南アルプスにもわずかに記録があるが、現在の生息状況は不明。
ホンシュウモモンガ	S50.11.4	県の天然記念物	リス科の小動物。日本特産で本州・四国・九州に分布。
ホンドオコジョ	S50.11.4	県の天然記念物	中部地方以北の山岳地帯に生息し、伊那谷では南・中央アルプスの主として亜高山帯以上の地域に生息。
ギフチョウ (卵、幼虫、さなぎ、成虫)	H1.1.31	市の天然記念物	市内に生息するギフチョウは翅紋の黒帯が広いという形態的な特徴がある。
嵯峨坂ざげん草自生地	H7.10.24	市の天然記念物	500 株前後が群生。

3 希少野生動植物の指定状況(長野県希少野生動植物保護条例)

指定希少野生動植物 及び 特別指定希少野生動植物

維管束植物 (平成15年度指定)

平成16年(2004年)2月19日指定

指定希少野生動植物 52種

センジョウデンダ、トヨグチウラボシ、カザグルマ、オキナグサ、シラネアオイ、エンピセンノウ、ヤマシャクヤク、ペニバナヤマシャクヤク、サクラソウ、コイワザクラ、クモイコザクラ、シラヒゲソウ、タヌキマメ、ハナノキ、ルリソウ、ツキヌキソウ、ツツザキヤマジノギク、ヤマタバコ、ホソバナシバナ、ヒメカイウ、ウラシマソウ、シライトソウ、ミカワバイケイソウ、ササユリ、ヤマユリ、ハナゼキシヨウ、ヒメシャガ、コアツモリソウ、キバナアツモリソウ、サギソウ、ミズチドリ、トキソウ、ヤクシマヒメアリドオシラン、サワラン、キリガミネアサヒラン、カヤラン、モミラン、ユウシュンラン (小計 38種)

うち 特別指定希少野生動植物 14種



本条例による制限のほか、種の保存法や、文化財保護条例等による規制がありますのでご注意ください。

※長野県希少動植物パンフレットより引用

指定希少野生動植物 及び 特別指定希少野生動植物

脊椎動物（平成16年度指定）

平成17年（2005年）3月22日指定

指定希少野生動植物 9種

クビワコウモリ（ほ乳類）



撮影/橋本肇 氏

ヤイロチョウ（鳥類）



撮影/植松永至 氏

クマタカ（鳥類）



標本提供/信州大学

ライチョウ（鳥類）



撮影/中村浩志 氏

ハクバサンショウウオ（両生類）



撮影/長沢武 氏

アカイシサンショウウオ（両生類）



撮影/澤島拓夫 氏

シナイモツゴ（魚類）



撮影/上原武則

うち 特別指定希少野生動植物 2種

イヌワシ（鳥類）



撮影/片山磯雄 氏

ブッポウソウ（鳥類）



撮影/中村浩志 氏

本条例による制限のほか、種の保存法や、文化財保護条例等による規制がありますのでご注意ください。

※長野県希少動植物パンフレットより引用

指定希少野生動物及び 特別指定希少野生動物

無脊椎動物（平成17・22年度指定）

指定希少野生動物（4種、5亜種及び2地域個体群）

○種指定

オオルリシジミ



平成18年(2006年)3月30日指定

タカネキマダラセセリ
(南アルプス亜種)



平成18年(2006年)3月30日指定

クモツマキチョウ
(南アルプスハヶ岳連峰亜種)



平成18年(2006年)3月30日指定

ミヤマモンキチョウ
(浅間連山亜種)



平成18年(2006年)3月30日指定

タカネキマダラセセリ
(北アルプス亜種)



平成18年(2006年)3月30日指定

オオイチモンジ



平成18年(2006年)3月30日指定

○地域個体群指定

チャマダラセセリ
(木曾町開田高原個体群)



平成18年(2006年)3月30日指定

ヒメヒカゲ
(岡谷市・塩尻市個体群)



平成18年(2006年)3月30日指定

うち特別指定希少野生動物（2種及び1亜種）

○種指定

フサヒゲルリカミキリ



平成22年(2010年)4月30日指定

ミヤマシロチョウ



平成18年(2006年)3月30日指定

タカネヒカゲ
(ハヶ岳亜種)



平成18年(2006年)3月30日指定

注：地域個体群とは一つの種のうち、地域的に孤立した集まりのことをいいます。

写真提供：有本実氏 川上美保子氏 清水敏道氏 須賀文氏 田下昌志氏
本条例による制限のほか、種の保存法や、文化財保護条例等による規制がありますのでご注意ください。

※長野県希少動物パンフレットより引用

4 景観形成指定状況

(1) 名勝（国指定）

名称	所在地	選定年度	指定基準に示された名勝地の種類及び構成要素
天龍峡	川路・龍江	S9	渓谷・瀑布・溪流・深淵

(2) 日本の棚田百選（農林水産省選定）

名称	所在地	選定年度	面積(ha)
よこね田んぼ	飯田市千代	H11	3.0

(3) かおり風景100選（環境省選定）

名称	選定年度	かおりの源	季節
りんご並木	H13	りんごの花と実	春、秋

(4) 景観育成住民協定（長野県指定）

地区	認定年度	主な内容
育良町	H5	建築物の形態等の基準、自動販売機の設置基準
羽場町	H6	建築物の形態等の基準、看板と自動販売機の制限
名古熊地区	H7	建築物の形態等の基準、屋外広告物の設置基準

(5) 景観育成団体（飯田市認定）

団体	認定年度	主な内容
育良町まちづくり委員会	H20.3	景観形成住民協定を締結している団体
羽場町景観形成住民協定委員会	H20.3	景観形成住民協定を締結している団体
鼎名古熊地区景観形成住民協定運営委員会	H20.3	景観形成住民協定を締結している団体
飯田市川路まちづくり委員会	H22.4	景観育成特定地区の団体

(6) 景観育成推進地区（飯田市認定）

団体	認定年度	主な内容
座光寺地区	H22.3	景観の育成を目的とした申し合わせ事項を有する地区

(7) 景観整備機構（飯田市指定）

団体	認定年度	主な内容
社団法人長野県建築士会	H22.3	景観の育成に関する業務を行う一般社団法人

第3節 21'いいだ環境プラン策定と改訂の経過

1 21'いいだ環境プラン第4次改訂の経過

1 飯田市環境審議会

(1) 構成メンバー (50音順 敬称略)

氏名	所属等	備考
新井 利彦	前飯田市放置自動車廃物審査会	
井上 雅啓	一般社団法人 長野県建築士会飯伊支部	
今村 紀子	飯田市女性団体連絡協議会	
今村 良子	環境カウンセラー	副会長・廃棄物対策部会長
小野寺 章	伊賀良地区環境委員会	
片桐 敏郎	下久堅地区環境保全委員会	
小林 聖	一般財団法人 中部公衆医学研究所	環境保全衛生部会長
小林 正明	伊那谷自然友の会	
沢柳 俊之	地域ぐるみ環境 ISO 研究会	
下平 澄子	飯田市女性団体連絡協議会	
鈴木 佳史	飯田地球温暖化対策地域協議会	
千 裕美	飯田女子短期大学	会長
外谷 一夫	東野地区環境保全委員会	
橋川 寛子	飯伊森林組合	
長谷川 隆三	株式会社フロントヤード	温暖化対策部会長
羽生 好男	長野県下伊那地方事務所環境課	
林 厚司	千代地区環境保全委員会	
林 浩人	信南交通株式会社	
美澤 勉	南信州ゆうき人	
澤柳 忠夫	松川水環境保全推進協議会	平成28年5月10日まで
水口 芳昭	松川水環境保全推進協議会	平成28年5月10日から
松澤 肇	飯田市環境アドバイザー	平成28年5月10日まで
森下 たまき	飯田市環境アドバイザー	平成28年5月10日から
山田 浩志	飯田商工会議所	温暖化対策副部会長
湯澤 眞理子	NPO法人 環境わくわく体験スクール	
蓬田 裕一	一般公募	

(2) 審議会の開催経過

開催日時	会議名	内容
平成28年 3月14日	平成27年度第2回環境審議会	第4次改訂の方針と骨子案について
9月21日	平成28年度第1回環境審議会	第4次改訂の素案について
11月25日	平成28年度第2回環境審議会	第4次改訂の原案について
12月19日	平成28年度第3回環境審議会	第4次改訂案諮問・答申

(3) 専門部会の開催経過

ア 温暖化対策部会 部会長

平成 28 年 5 月 9 日 第 1 回温暖化対策部会
平成 28 年 6 月 9 日 第 2 回温暖化対策部会

イ 廃棄物対策部会

平成 28 年 5 月 12 日 第 1 回廃棄物対策部会
平成 28 年 6 月 6 日 第 2 回廃棄物対策部会
平成 28 年 7 月 4 日 第 3 回廃棄物対策部会

ウ 環境保全衛生部会

平成 28 年 5 月 11 日 第 1 回環境保全衛生部会
平成 28 年 5 月 31 日 第 2 回環境保全衛生部会
平成 28 年 6 月 27 日 第 3 回環境保全衛生部会

2 飯田市議会

開催日時	会議名	内容
平成 28 年 6 月 7 日	第 2 回飯田市議会定例会総務委員会協議会	第 4 次改訂の基本方針について
12 月 12 日	第 4 回飯田市議会定例会総務委員会協議会	第 4 次改訂案について
平成 29 年 3 月 23 日	第 1 回飯田市議会定例会全員協議会	第 4 次改訂計画について

3 庁内会議

開催日時	会議名	内容
平成 28 年 5 月 11 日	平成 28 年度第 3 回部長会議	第 4 次改訂の基本方針について
7 月 4 日	平成 28 年度第 5 回部長会議	第 4 次改訂の方針と骨子案について
9 月 9 日	平成 28 年度第 7 回部長会議	第 4 次改訂の素案について
平成 29 年 2 月 8 日	平成 28 年度第 13 回部長会議	第 4 次改訂案について
3 月 2 日	平成 28 年度第 14 回部長会議	第 4 次改訂計画について

4 パブリックコメント

平成 28 年 10 月 18 日から 11 月 17 日まで

寄せられた意見とそれに対する市の考え方

提出された意見	市の考え方
1 BOD（生物化学的酸素要求量）と言う注釈が必要ではないかと思えます。	ご指摘のとおり、注釈を表記します。
2 Plan,do,check,action のサイクルである注釈があってもいいのではないのでしょうか。	ご指摘のとおり、注釈を表記します。

<p>3 企業に対してだけでなく、一般市民に対しても月1回或いは2回の「ノーマイカー日」の制定と言うのは如何でしょうか。</p> <p>我々のような高齢者はごく近所へ行くにも車をすぐ使ってしまう。その日が市で決める「ノーマイカー日」であれば、近場の用事は歩いて行くなり、次の日に延ばしたりできると思います。こうすることにより全市民参加の「ノーマイカー日」になるように思います。</p>	<p>ノーマイカー通勤一斉運動は、飯田市役所も1事業所として設立当初から参加している、「地域ぐるみ環境ISO研究会」が地域内の企業に参加を呼びかけ、その従業員が取り組んでいる運動です。</p> <p>取り組み項目も、ノーマイカー運動に加え、省エネ、省資源活動などのアレンジを加え、1週間の期間での運動としています。</p> <p>より多くの事業所の参加がより大きな効果となるため、より効果的な呼びかけにしていけることが必要であり、市民への参加について、研究会と行政が連携した効果的な取り組みを研究して参ります。</p>
<p>4 河川の改修と言うのは環境問題からすると破壊行動につながるのかもしれませんが、昨今の異常気象に鑑みたとき異常気象による大災害により最大級の致命的環境破壊をきたしています。毎年全国において年中行事のごとく発生しその災害の規模たるや目を覆いたくなる場所ばかりです。</p> <p>そこで、災害前に整備不備な河川等を改修して異常気象に備えるという考え方もあるのではないのでしょうか。環境部だけの事業ではなく建設部等との連携により、明らかに危険と思われる河川等の改修を先行することも環境保全につながる施策になるのではないのでしょうか。</p>	<p>市では、危険箇所については、河川点検及び地元地区要望により河川改修を行い、飯田市地域防災計画に掲げ自然災害防止事業等により整備を行っています。</p> <p>今回の改訂で、国土強靱化の観点からも、気象変動への適応について研究を進めていくことになっています。</p> <p>気象変動による社会インフラ整備のあり方について、国や県等の関係機関から情報収集を行い、適応策を検討する中で一定の方向性を持って、庁内関係部署とも、連携を図り、いただいたご意見について検討をして参りたいと考えます。</p>

5 環境審議会各委員からのコメント (50音順 敬称略)

氏名	コメント
新井 利彦	廃棄物の適正処理については、計画の実行段階で市民への周知が重要で、特に自治組織未加入者・外国の方々等への対応に努める中、過去に地区別埋立ごみ組織調査で6割の不適正実態を直視し、市民全体で取り組む体制が必要です。
井上 雅啓	環境プラン改訂に携わり、皆さんと温暖化対策の計画策定ができてよかった。

今村 紀子	第4次改訂に携わり、環境分野はとて幅広く、課題も複雑で多いことに改めて気付かされました。今後は、改訂された環境プランに基づき、市民一人ひとりが、それぞれの立場で努力や協力をしていくことが、多くの課題を解決するために必要であると感じました。
今村 良子	ごみ焼却場の移転の時期でもありごみ処理内容も少し改訂され第4次基本計画（プラン）が策定されて市民一丸となって計画にそった取り組みが出来るよう願っております。
小野寺 章	目標値に掲げたごみの減量について、地区住民の皆さんにも呼び掛け、地区全体でごみの減量に取り組みたいと思います。
片桐 敏郎	全国的な傾向である人口の減少、少子高齢化の中で、地域住民の自主的、積極的な参加や行動が必要となり、一人ひとりの意識をどう高めていくかだと思います。ごみ問題・不法投棄など。
小林 聖	いいだ環境プラン第4次改定版では、進むべき方向性と取り組みが示されておりますがこれらが確実に実行され、豊かな自然環境が次世代に受け継がれていくことを期待します。
小林 正明	“環境”という難しい分野に行政、委員の皆さんが挑む姿に敬意です。温暖化という地球規模のことに一地方自治体が将来に対する責任を果たそうとしている姿、いくつかの分野に数値目標を掲げたことにも感じ入りました。後の評価も大変ですが市民の協力をお願いしたいです。リニア等が自然環境に影響を及ぼすときは実態調査と対処を望みます。
沢柳 俊之	PDCAを確実に実施し、目指す目標値が達成されるよう期待します。
下平 澄子	稲葉クリーンセンターの稼働により、燃やすごみの種類が増えたことで、今まで習慣づけてきたごみの分別の意識がうすれることのないよう3Rの心かけを忘れず、ごみの減量を目指していきたい。又高齢者のごみの収集については地域住民の思いやりと協力がなによりと思います。
鈴木 佳史	今回の第4次改訂版で計画した取り組みが環境モデル都市としての自覚のもと、市民と共に確実に実施されます事を期待しています。特に環境に優しい交通社会の実現を目指して頂きたいです。
千 裕美	飯田市における環境保全の取り組みは、幅広く奥深いものだと思います。これからも環境文化都市としてますます発展することで、市民が住みやすく、安全で、平和な活気のある地域になっていくことを願っています。
外谷 一夫	飯田市ポイ捨て等防止市民条例（平成26(2014)年4月1日）が施行され2年が経過するも市民の理解がいまいち希薄な所があり、日頃取り組んでいるごみ減量作戦の数値目標と合わせて地区住民に更なるご理解とご協力を頂けるよう努力していきます。
橋川 寛子	山の整備を仕事とする森林組合が、いいだ環境プラン策定に携えることは、環境産業として果たすべき役割があると襟を正す思いです。今後も森林整備とそのための環境づくりに努めたいと思います。

長谷川 隆三	地球温暖化対策は市民、企業、行政がタッグを組んで進めていかなくてはなりません。今回の環境プランが多くの皆さんの行動の指針となり、飯田市において様々なアクションが生まれていくことを期待します。
羽生 好男	環境モデル都市として持続可能な循環型社会のさらなる発展に期待します。
林 厚司	改訂に参加し、環境保全の大切さを深く感じました。これからは地域の皆さんと達成に向けて取り組んでいきます。
林 浩人	今回の改訂版策定に当り、様々な観点から分析・検討されていること、委員各位の見識の深さには大変勉強になりました。リニア開通を見据える中で交通事業者の一員として環境・地球温暖化の観点からも公共交通のあり方について考える必要性を感じました。
美澤 勉	環境を考慮せず生活できた時代は過ぎ去り、環境の上に私達の現在と未来の姿がかかっています。私達の住む森林都市飯田が自然と共生して歩む取り組みが、世界各地の指針となるよう、環境プランに期待します。
水口 芳昭	環境プラン改定にかかわり、皆さんと協議し第4次計画策定が出来てよかったです。しかし市民が、自然とのふれあい、水辺等美化運動に参加されるのが希薄かなと感じました。
森下 たまき	環境プラン改定に携わり、各部会の皆さまのお話を聞かせていただくことによって自分の考えの中での取り組みまたは行動に移したいと思います。飯田市全体が良くなり地区住民の皆さんにも説明させていただくことができます。今後も取り組んでいきます。
山田 浩志	21'いいだ環境プラン第4次改訂版の策定に無力ながらかかわることができたへん勉強になりました。産業界が係わる部分もあり、この取組を発信していきたいと思います。
湯澤 眞理子	第4次計画のように、着実に実行されますことを願います。
蓬田 裕一	今回のいいだ環境プランの改定が基礎となり、太陽・水・森など飯田にあふれる自然の恵みを活かして、環境と経済の好循環がさらに進展することを期待しています。

2 21'いいだ環境プラン策定、第1次、第2次、第3次改訂の経過

(1) 21'いいだ環境プラン策定

ア 環境審議会

平成6年7月～平成8年6月

氏名	所属等	氏名	所属等
桜井 俊夫	市議会（平成6年度まで）	清水 重徳	〃（平成7年度から）
西尾 喜好	〃	下平 秀弘	法曹会
長谷部徳治	〃	松島 正幸	建築士会
塩沢 俊彦	〃	桜井 善実	〃
中田 佳甫	市議会（平成7年度から）	菅沼 和夫	(財)中部公衆医学研究所
井坪 隆	〃	松村 芙美子	飯伊薬剤師会
吉川 昌子	〃	渡邊 壽子	長野県自然観察インストラクター（平成6年度まで）
牛山 重一	〃	原 幸男	飯田市自治協議会連合会
片桐 充昭	飯田女子短期大学	代田 多門	飯田市環境衛生組合連合会
三浦 宏	(前) 飯田女子短期大学	松倉 かつみ	飯田市女性団体連絡協議会
宮川 信	飯田市立病院	川手 たか子	〃
木下 進	飯田市美術博物館	原田 弥美	飯田市連合青年団
若尾 豊信	建設省飯田国道工事事務所（平成6年度まで）	西尾 保男	勤労者協議会
村松 千明	〃（平成7年度から）	山岸 英二	飯田商工会議所
清水 哲夫	長野県下伊那地方事務所	本多 俊文	農業委員会
伊藤 賢	長野県飯田保健所（平成6年度まで）	林 昌平	飯田市森林組合

平成8年7月～平成10年6月

氏名	所属等	氏名	所属等
中田 佳甫	市議会	桜井 善実	建築士会
井坪 隆	市議会	菅沼 和夫	(財)中部公衆医学研究所
吉川 昌子	市議会	西江 富士子	飯伊薬剤師会
牛山 重一	市議会	滝沢 秋三	飯田市自治協議会連合会
片桐 充昭	飯田女子短期大学	代田 多門	飯田市環境衛生組合連合会
三浦 宏	(前) 飯田女子短期大学	松倉 かつみ	飯田市女性団体連絡協議会
宮川 信	飯田市立病院	横田 永	〃
木下 進	飯田市美術博物館	深尾 由香	飯田市連合青年団
村松 千明	建設省飯田国道工事事務所	西尾 保男	勤労者協議会
宮永 健治	長野県下伊那地方事務所	山岸 英二	飯田商工会議所
清水 重徳	長野県飯田保健所	関島 勝明	農業委員会
下平 秀弘	法曹会	井上 源一	飯田市森林組合
松島 正幸	建築士会		

専門委員

氏名	所属等	氏名	所属等
桜井 善雄	信州大学名誉教授	北村 善宣	横浜国立大学助教授

平成6年	7月6日	第1回審議会	21'いいだ環境プランの背景、必要性について
	11月30日	第2回審議会	21'いいだ環境プランの基本的考え方について
平成7年	3月2日	第3回審議会	21'いいだ環境プラン基本計画の諮問・答申
	7月26日	第1回審議会	21'いいだ環境プランにおける具体的施策について
	12月5日	第2回審議会	(統一指定ごみ袋制度導入計画諮問・答申)
平成8年	5月28日	第1回審議会	循環型まちづくりについて
	6月27日	第2回審議会	安全なまちづくり、意識づくりについて
	8月28日	第3回審議会	豊かな美しいまちづくり、各分野を支える基盤施策について
	11月8日	第4回審議会	21'いいだ環境プラン素案について
	12月19日	第5回審議会	21'いいだ環境プラン(案) 諮問・答申

イ 21'いいだ環境プラン策定本部

()内は平成8年7月組織改正後

【本部長】助役 【副本部長】総務部長 民生部長(水道環境部長)

【本部】庶務課長 秘書課長(企画課長) 財政課長 福祉課長(保健厚生課長) 交通防災課長(～平成8年6月) 環境保全課長 農政課長 農村整備課長(～平成8年6月) 商業観光課長(商工観光課長) 管理課長(管理計画課長) 土木課長 都市計画課長(都市整備課長) 建築課長 治水対策部業務課長 市立病院庶務課長 水道局業務課長(水道業務課長) 下水道課長 消防本部総務課長 議会事務局次長 飯田環境センター事務長 教育委員会庶務課長(～平成8年6月)(教育委員会学校教育課長)(生涯学習課長)(会計課長)

平成6年	10月24日	第3回会議	基本的考え方について
	12月21日	第4回会議	〃
平成7年	1月27日	第5回会議	基本的計画(案)の策定
	4月17日	第1回会議	基本的計画に係る環境審議会の答申について
	6月21日	第2回会議	基本計画ダイジェスト版について
	11月21日	第3回会議	環境マップ利用による適正土地利用の推進方法
平成8年	4月11日	第1回会議	具体的施策として位置づける各課で行う事業について
	7月31日	第2回会議	計画における具体的施策について
	8月19日	第3回会議	計画素案策定
	10月25日	第4回会議	計画原案検討

ウ 議会説明

平成6年	11月8日	社会委員会	基本的考え方について
	12月20日	全員協議会	"
平成7年	3月20日	全員協議会	基本計画について
平成8年	11月13日	建設委員会	基本案について
	12月11日	全員協議会	"

工 飯田市環境特性図作成専門委員会(自然分野)

平成7年当時

氏名	担当	所属等
北城 節雄	植物	元校長、伊那谷自然友の会会長
尾曾 清博	植物	伊那北高校教諭
古松 隆明	植物	元教諭、伊那谷自然友の会常任委員
池田 健一	植物	飯田風越高校教諭、伊那谷自然友の会常任委員
北沢 あさ子	植物	はなのき友の会事務局長、伊那谷自然友の会常任委員
久保田 加津男	植物	登山家
市瀬 光明	植物	室内装飾デザイナー
寺岡 義治	植物	飯田市農林部林務課森林公園係長
岸本 良輔	植物	長野県生活環境部環境保護課
大原 均	動物	長野県生活環境部自然保護課
中村 貴俊	水生昆虫	松尾小学校教諭
井原 道夫	昆虫	飯田昆虫友の会会長、伊那谷自然友の会副会長
浅野 清志	地質	高森南小学校教諭
松島 信幸	地質	元教諭、伊那谷自然友の会常任委員、理学博士
下平 勉	地質	飯田高校教諭
金沢 重敏	地質	松川高校教諭
木下 進	地質・植物	飯田市美術博物館
松村 武	地質	飯田市美術博物館

平成6年	1月11日	第1回	事前会議	地域環境及び自然環境特性調査について
	1月3日	第2回	事前会議	調査方法の検討
	2月24日	第3回	全体会議	生物関係、地質関係調査部会報告
	3月25日	第4回	全体会議	調査について打ち合わせ
	4月9日	第5回	地質会議	調査方法について
	4月17日	第6回	生物会議	調査方法について
	4月28日	第7回	全体会議	調査マニュアル策定
	8月9日	第8回	全体会議	環境チェック調査集約、調査現況報告
	12月13日	第9回	全体会議	調査現況報告
平成7年	3月30日	第10回	全体会議	次年度調査について
	5月31日	第11回	全体会議	調査まとめ

6月28日 第12回 全体会議 調査まとめ
 8月23日 第13回 全体会議 コンサルタントとの懇談、報告書作成

環境チェッカーによる自然調査経過

平成6年 5月14日 第1期委嘱式及び調査説明会
 5月～6月 残したい身近な自然・景観アンケート調査
 5月～平成7年 5月 指標動植物調査
 8月～平成7年 7月 地形・地質調査
 平成7年 3月 残したい身近な自然・景観アンケート結果報告書作成
 9月30日 飯田市環境特性図作成のための基礎調査報告書発行
 平成8年 3月23日 報告会及び終了式

(2) 21'いいだ環境プラン第1次改訂

ア 飯田市環境審議会

平成12年7月～平成14年6月

氏名	所属等	氏名	所属等
下平 勝熙	市議会	白子 暁子	長野県建築士会下伊那支部
森本 美保子	〃	菅沼 和夫	(財)中部公衆医学研究所
原 勉	〃	村松 芙美子	飯伊薬剤師会
矢澤 芳文	〃	西村 博允	飯田市自治協議会連合会
片桐 充昭	飯田女子短期大学	代田 多門	飯田市環境衛生組合連合会
干 裕美	〃	矢澤 素子	〃
木下 進	飯田市美術博物館	矢澤 たい子	飯田市女性団体連絡協議会
前田 和弘	国土交通省飯田国道工事事務所	中島 たせ子	〃
樽沼 政男	下伊那地方事務所	今村 良子	飯田市環境アドバイザー
宮下 邦樹	飯田保健所環境衛生課	熊谷 清	勤労者協議会
下平 秀弘	法曹会	浦野 勉	飯田商工会議所
桜井 善実	長野県建築士会下伊那支部	関島 勝明	飯田市農業委員会

平成14年 6月27日 第1回審議会 21'いいだ環境プラン見直し(案)諮問・答申

イ 21'いいだ環境プラン見直し飯田市環境市民会議

氏名	氏名	氏名
新井 優	新井 利彦	荒木 和代
井口 正三	市橋 恵美	今村 良子
奥村 正純	小田切 通利	香山 聡
木下 秀樹	久保田 和子	沢柳 俊之

関嶋 芳男	寺岡 義治	原 清寛
平沢 耕	深尾 守	松澤 肇
壬生 眞由美	矢沢 由美子	山田 拓

平成 13 年 5 月 29 日	第 1 回全体会議	21'いいだ環境プランの概要、見直しについて
6 月 12 日	第 2 回全体会議	21'いいだ環境プランの特徴と取組経過について
6 月 30 日	第 3 回全体会議	意見交換、見直し方法の検討、部会づくり
12 月 6 日	第 4 回全体会議	各部会の検討結果報告、意見交換
平成 14 年 4 月 11 日	第 5 回全体会議	庁内ワーキング検討結果について
4 月 16 日	第 6 回全体会議	庁内ワーキング検討結果について

部会作業

循環型まちづくり部会	平成 13 年 7 月～10 月	計 10 回
緑豊かな美しいまちづくり部会	平成 13 年 7 月～10 月	計 11 回
安全なまちづくり部会	平成 13 年 7 月～11 月	計 9 回
意識づくり部会	平成 13 年 7 月～10 月	計 9 回

ウ 21'いいだ環境プラン見直し庁内ワーキンググループ

氏名	所属等	氏名	所属等
小島 康晴	企画課(平成 12 年度)	吉川 文男	学校教育課(平成 12 年度)
佐藤 公宏	" (平成 13 年度)	佐々木 学	" (平成 13 年度)
生嶋 哲夫	水道業務課	関口 収司	環境保全課(平成 12 年度)
大原 邦彦	農政課	酒井 竜彦	"
大蔵 豊	林務課(平成 12 年度)	小木曾 学	" (平成 13 年度)
棚田 孝義	" (平成 13 年度)	宮内 良人	"
下井 善彦	工業課	牧内 功	"
澤柳 孝彦	管理計画課	松江 良文	"
中園 紘	土木課(平成 12 年度)	上沼 昭彦	"
吉地 良平	" (平成 13 年度)	福澤 好晃	"
牛山 剛典	建築課		

平成 13 年 3 月 13 日	第 1 回ワーキング	21'いいだ環境プランの特徴、見直し方法検討
3 月 27 日	第 2 回ワーキング	基本計画、21'いいだ環境プランの進捗状況について
4 月 10 日	第 3 回ワーキング	21'いいだ環境プランの進捗状況について
4 月 25 日	第 4 回ワーキング	"
5 月 14 日	第 5 回ワーキング	"
6 月 12 日	第 6 回ワーキング	"
6 月 26 日	第 7 回ワーキング	"

7月12日 第8回ワーキング //

平成14年3月1日 第9回ワーキング 市民会議報告、プラン見直し(案)の検討

3月13日 第10回ワーキング //

3月18日 第11回ワーキング //

(3) 21'いいだ環境プラン第2次改訂

ア 飯田市環境審議会

氏名	所属等	氏名	所属等
新井 利彦	旧飯田市環境衛生組合連合会	関島 克郎	飯田市商工会議所
今村 良子	飯田市環境アドバイザー	干 裕美	飯田女子短期大学
折山 ひで子	一般応募	田中 喜代子	飯田下伊那薬剤師会
片桐 充昭	飯田女子短期大学	中島 たせ子	飯田市女性団体連絡協議会
木下 進	飯田市美術博物館	萩本 博	地域ぐるみ環境ISO研究会
小林 聖	(財)中部公衆医学研究所	原 一樹	長野県下伊那地方事務所
桜井 忠孝	飯田市勤労者協議会	原 清寛	一般公募
菅沼 浩一	一般応募	原 亮弘	一般公募
関口 節三	旧飯田市自治協議会連合会	八木 由美	長野県建築士会飯伊支部
関島 和子	飯田市農業委員会		

平成20年2月14日 第1回審議会 21'いいだ環境プラン第2次改訂概要

3月17日 第2回審議会 21'いいだ環境プラン第2次改訂版(案) 諮問・答申

イ 21'いいだ環境プラン見直し市民会議

氏名	氏名	氏名
稲垣 万里	今村 道子	今村 良子
片桐 みどり	香山 聡	小池 晴人
小澤 恭子	後藤 洸太	後藤 翔太
佐々木 俊次	嶋岡 成美	下平 澄子
中島 信介	中島 たせ子	南原 順
原 亮弘	平沢 耕	福島 紀雄
馬島 孝雄	松澤 肇	森下 たまき
矢島 美恵子	山本 拓也	

平成19年6月14日 第1回会議 講師：NPO 法人環境市民代表 杵本育生

学習会 テーマ：持続可能な社会を目指して 市民によるまちづくり

市民参画による環境プラン策定と実行

		21'いいだ環境プラン、第5次基本構想基本計画について
7月26日	第2回会議	各施策の基本方針と組み立てについて
8月31日	第3回会議	個別施策の組み立ての確認と現状について
9月18日	第4回会議	市民・事業者・行政の取組みについて
11月8日	第5回会議	改訂案(素案)の検討
12月6日	第6回会議	リーディング事業の選定
12月20日	第7回会議	リーディング事業の検討
平成20年1月28日	第8回会議	リーディング事業の確認と改訂案の検討
3月16日	第9回会議	21'いいだ環境プラン改訂案の確認

ウ 21'いいだ環境プラン見直し庁内ワーキンググループ

氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
三浦 伸一	企画課	羽生 俊郎	生涯学習スポーツ課	大蔵 豊	環境課
吉川 弘人	工業課	大塚 千夏	税務課	下島 智和	〃
熊谷 徳昭	農業課	岩崎 克幸	納税課	土屋 哲二	〃
井口 学	林務課	中島 修	環境課	林 みどり	〃
佐々木智康	下水道課	木下 巨一	〃	小川 博	〃
代田 暢志	都市地域計画課	前沢 雅秀	〃	伊藤 尚志	〃
平澤 健	土木課	吉川 豊	〃	増田 寿匡	〃
城下 一弘	学校教育課				

平成19年5月31日	第1回ワーキング	見直しの基本方針について
6月11日	第2回ワーキング	21'いいだ環境プランの進捗状況について
7月12日	第3回ワーキング	〃
8月6日	第4回ワーキング	〃
8月28日	第5回ワーキング	個別施策の組立てと現状について
11月2日	第6回ワーキング	基本施策、個別施策の方向性について
11月21日	第7回ワーキング	リーディング事業について
平成20年2月29日	第8回ワーキング	21'いいだ環境プラン改訂案について

エ その他勉強会、意見募集等

平成20年	1月8日	政策会議	21'いいだ環境プラン見直しの概要について
	1月15~18日	議会会派勉強会	21'いいだ環境プラン見直しの概要について
	2月4日	庁内説明会	21'いいだ環境プラン見直しの概要 リーディング事業について
	2月4~18日	パブリックコメント	

(4) 21'いいだ環境プラン第3次改訂

ア 環境審議会

◎会長 ○副会長

氏名	所属等	氏名	所属等
新井 利彦	飯田市放置自動車廃棄物審査会	田中 義則	一般公募
○今村 良子	グリーンクラブい〜だ	萩本 博	地域ぐるみ環境 ISO 研究会
北澤あさ子	伊那谷自然友の会	原 清寛	いいだ自然エネルギーネット山法師
木下恵美子	飯田市女性団体連絡協議会	久田 恵子	(社)飯田下伊那薬剤師会
小林 聖	(財)中部公衆医学研究所	前沢 和吉	飯田市勤労者協議会
城田美津子	飯田商工会議所	松沢 泰治	長野県下伊那地方事務所
遠山 典男	南信濃まちづくり委員会	松澤 肇	一般公募
関島 和子	飯田市農業委員会	八木 由美	長野県建築士会飯伊支部
◎千 裕美	飯田女子短期大学		

平成 23 年 7 月 29 日	第 1 回環境審議会	21'いいだ環境プランの改定方針について
11 月 25 日	第 2 回環境審議会	21'いいだ環境プラン素案について
12 月 15 日	環境審議会勉強会	〃
平成 24 年 2 月 16 日	第 3 回環境審議会	21'いいだ環境プラン(案)諮問
2 月 22 日	環境審議会勉強会	21'いいだ環境プラン(案)協議
3 月 2 日	第 4 回環境審議会	21'いいだ環境プラン(案)答申

イ 21'いいだ環境プラン見直し飯田市環境市民会議

構成メンバー

今村 良子 佐々木 謙一 福澤 泰彦 前沢 正義 松島 清子

平成 23 年 2 月 19 日	第 1 回検討会議	21' いいだ環境プラン改訂の方針について
8 月 27 日	第 2 回検討会議	全体構成と環境政策の基本的な考え方について
9 月 28 日	第 3 回検討会議	各施策とその課題について
11 月 6 日	第 4 回検討会議	〃
平成 24 年 2 月 12 日	第 5 回検討会議	21'いいだ環境プラン素案について

ウ 議会

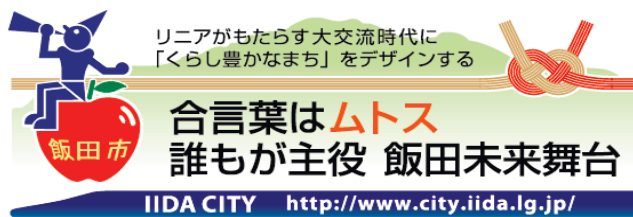
平成 23 年 6 月 20 日	議会建設環境委員会	改訂方針について
12 月 16 日	議会建設環境委員会	21'いいだ環境プラン素案について
平成 24 年 3 月 15 日	議会建設環境委員会	21'いいだ環境プランについて
3 月 21 日	議会全員協議会	21'いいだ環境プラン公表

エ 庁内会議

平成 23 年 6 月 9 日	庁議(部長会)	改定方針の決定
9 月 8 日	庁内調整会議	21'いいだ環境プランについて
10 月 14 日	庁内調整会議	各施策の基本方針について
11 月 24 日	政策調整会議	21'いいだ環境プラン素案について
12 月 6 日	庁内調整会議	21'いいだ環境プラン素案について
12 月 12 日	庁議 (部長会)	21'いいだ環境プラン素案の協議、決定
平成 24 年 2 月 2 日	庁議 (部長会)	21'いいだ環境プラン (案) の協議、決定
3 月 22 日	庁議 (部長会)	21'いいだ環境プラン決定

オ パブリックコメント

期間 平成 24 年 1 月 10 日から 2 月 10 日まで



市民協働環境部環境課・環境モデル都市推進課

TEL 0265-22-4511 FAX 0265-22-4673

e-mail: ikankyou@city.iida.nagano.jp (環境課)

sakugen_co2@city.iida.nagano.jp (環境モデル都市推進課)